

二〇一八年三月

「今月の言葉」と「今月の聖語」についての紹介

今月の言葉

足ることを知らない者は 富んでいても貧しい。

『遺教経』
ウイキョウキョウ

今月の言葉は、お釈迦様が最後に説かれた説法をまとめた『遺教経』の一文です。人間は、お金や物など欲しい物が手に入っても、「もつと欲しい、もつと欲しい」と新たな欲求が起こり、それはとどまることを知りません。人間はそれだけ欲深く、足ることを知らないのです。足ることを知らない人は、いくら経済的に富んでいても、満たされず心は貧しい。そのことをお釈迦様は見抜かれ、反対に「足ることを知る人は、貧しくても富んでいる」と仰っています。

一つの例えとして、半分の水が入っているコップがあつたとします。これを見て「水が半分しか入っていない」と考えるのではなく、「水が半分もある」と考えれば、満足度が増します。私たちの欲はキリがありませんが、この例えのような考え方をすれば、少しは満足な気持ちになれるのではないのでしょうか。

今月の聖語

聖典の言葉をいくらたくさん語っていても、

それを実践しなければ怠け者である。 『ダンマパダ』

今月の聖語は、仏教の教えをいくら語っていても、それを実践しなければ修行者とは言えないという意味です。修行者にとつては、お釈迦様が示された八つの正しい道「八正道（はっしやうどう）」を実践することが大切です。

理科で例に挙げてみると、理科の教科書に書いてあることをただ暗記しただけでは、その内容を理解したことはなりません。理科室で自ら実験しなければ、本当に教科書の内容を理解したとは言えないでしょう。また英語力を例にしても、英単語などを暗記するだけではなく、それを会話という実践で繰り返し行わなければ、英語力は身につかないでしょう。

三月は一年間の学習の集大成として、本校で後期考査が実施されます。みなさんもきちんとした勉強法を実践すれば、後期考査で良い点数が取れると思います。